

公財盛文事号外
令和4年8月25日

報道機関各位

公益財団法人盛岡市文化振興事業団
理事長 三浦 宏

主催事業に係る周知方について(依頼)

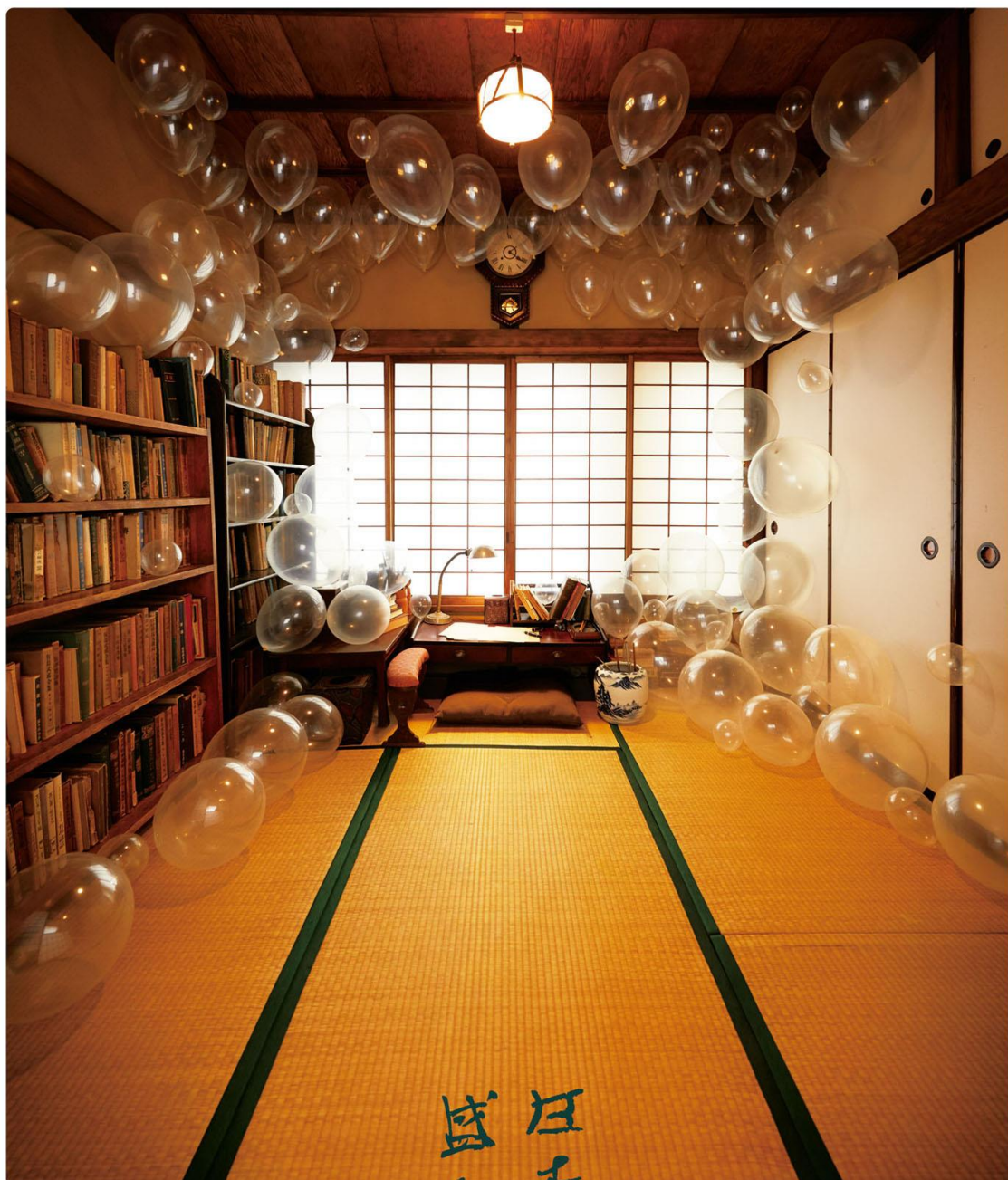
日ごろ、当事業団の事業運営につきましては、格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当事業団では別添のとおり主催事業を実施いたします。

つきましては、広く市民の皆様に当該事業をお知らせいただきたく、貴報道機関を通じての
周知方、よろしくお願い申し上げます。

また、お取り上げいただける場合は出演者の写真等もご用意できますので、ご一報いただけ
れば幸いです。

ご多用のところ恐縮ではございますが、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人盛岡市文化振興事業団
担当：企画事業部 新沼 祐子(日本文学盛衰史)
古舘 仁志(民謡まわり舞台)
Tel 019-621-5151 / Fax 019-621-5101



日本文学
盛衰史

原作・高橋源一郎
作・演出・平田オリザ

青年団第96回公演

青年団第96回公演 『日本文学盛衰史』

原作：高橋源一郎 作・演出：平田オリザ

文学とは何か、人はなぜ文学を欲するのか、
人には内面というものがあるらしい。
そして、それは言葉によって表現ができるものらしい。
しかし、私たちは、まだ、その言葉を持っていない。
この舞台は、そのことに気がついてしまった明治の若者たちの
蒼い恍惚と苦悩を描く青春群像劇である。

出演：
山内健司 松田弘子 永井秀樹 小林 智 兵藤公美 島田曜蔵
能島瑞穂 知念史麻 古屋隆太 石橋亜希子 井上三奈子 大竹直
高橋智子 村井まどか 長野 海 村田牧子 山本裕子 海津 忠
菊池佳南 緑川史絵 佐藤 滋 串尾一輝 中藤 奨 田嶋小春

舞台美術：杉山 至
舞台美術アシスタント：濱崎賢二
舞台監督：武吉浩二 (campana) 中嶋さおり
照明：西本 彩
照明操作：三嶋聖子
音響：泉田雄太 櫻内懂海
衣裳：正金 彩
衣裳製作：中原明子
衣裳アシスタント：陳 彦君 塚本かな 原田つむぎ
演出部：原田香純 たむらみずほ 高橋ルネ
小道具：中村真生
演出助手：小原 花
宣伝美術：工藤規雄+渡辺佳奈子
宣伝写真：佐藤孝仁
宣伝美術スタイリスト：山口友里
制作：太田久美子
制作補佐：三浦雨林
タイトルロゴ制作資料協力：公益財団法人日本近代文学館
企画・制作：青年団/有限会社アゴラ企画

『日本文学盛衰史』における重要な登場人物である石川啄木、そして宮澤賢治ゆかりの東北、北海道でツアーを行えることを何より楽しみにしています。

高橋源一郎さんからは、本作の舞台化にあたって「好きにしていますよ」と快諾をいただきました。そして本当に、好きのようにさせていただきますました。そして初演時、最初の通し稽古をご覧になった源一郎さんは、「傑作ですね」とおっしゃってくださいました。おそらく、あの快作にして怪作の長編小説を舞台化するとしたら、この方法しかなかったと思えるほどに上演は成功しました。鶴屋南北戯曲賞を受賞できたのは望外の喜びでした。

今回、再演にあたっては、時事ネタの部分を中心に書き換えて、新しい構想で臨みます。どうか、ご期待ください。

平田オリザ

原作『日本文学盛衰史』（講談社文庫刊）

高橋源一郎の長編小説。『群像』に1997年～2000年にかけて連載。
日本近現代文学の文豪たちの作品や彼らの私生活に素材を取りつつ、ラップ、アダルトビデオ、伝言ダイヤル、BBSの書き込みと「祭」、たまごっち、果ては作者自らの胃カメラ写真までが登場する超絶長編小説。第13回伊藤整文学賞受賞作。



高橋源一郎

1951年広島県生まれ。作家。明治学院大学名誉教授。
1981年デビュー作、『さよなら、ギャングたち』で第4回群像新人長編小説賞優秀作受賞。
1988年『優雅で感傷的な日本野球』で第1回三島由紀夫賞受賞。
2002年『日本文学盛衰史』で第13回伊藤整文学賞受賞。
2012年『さよならクリストファー・ロビン』で第48回谷崎潤一郎賞を受賞。
著書に『今夜はひとりぼっちかい？ 日本文学盛衰史 戦後文学篇』、『これは、アシだな』、『失われた TOKIO を求めて』他多数。



平田オリザ

劇作家・演出家・青年団主宰。芸術文化観光専門職大学学長。江原河畔劇場・こまばアゴラ劇場 芸術総監督。
1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞、1998年『月の岬』で第5回読売演劇大賞・優秀演出家賞、2003年『その河をこえて、五月』で第2回朝日舞台芸術賞グランプリ、2019年『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞受賞。2011年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。豊岡市文化政策担当参与。



青年団

1982年結成。こまばアゴラ劇場を拠点に、平田が提唱した「現代口語演劇理論」を通じて新しい演劇様式を追求し、90年代以降の演劇界に強い影響を与えている。劇団内で独自の企画を行う不定形のユニット「青年団リンク」は若手アーティスト育成の場として、才気ある劇作家や演出家を多く輩出。2020年より兵庫県豊岡市の新拠点「江原河畔劇場」からも作品の創作・発信を行なっている。

田山花袋 島崎藤村 森鷗外 二葉亭四迷 芥川龍之介 夏目漱石 石川啄木

日本文学盛衰史

ロゴは7人の作家の文字からできています

2022年12月18日(日) 14:00開演 (13:15開場)

盛岡劇場 メインホール

盛岡市松尾町3-1 <https://www.mfca.jp/morigeki/>

チケット発売

2022年10月14日(金)

全席指定 一般4,000円(当日4,500円) U-25チケット2,000円(当日2,500円)
m-Friends 料金3,600円(前売のみ、1会員2枚まで)

チケット取扱い：カワトク、若手県民会館、盛岡市民文化ホール、キャラホール、姫神ホール、盛岡劇場

※本公演は国や自治体のガイドラインに沿って収容率100% (お満ちほかのお客様がいる状態) での開催となります。
※U-25チケット・m-Friends チケットは、盛岡市民文化ホール、キャラホール、姫神ホール、盛岡劇場のみ (セット券は盛岡劇場のみ) での取り扱いとなります。
※U-25チケットは25歳以下の方が対象です。公演当日、年齢のわかる身分証をご持参ください。
なお、U-25チケットを対象者以外の方が当日利用された場合は、一般前売料金との差額を頂戴します。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※車いすで来場のお客様は事前に盛岡劇場までお問合せください。

主催：盛岡市文化振興事業団 共催：盛岡市、若手日報社 後援：めんこいテレビ 助成：(一財) 地域創造

二兎社公演「歌わせたい男たち」(2023年2月4日(日)開催) との m-Friends セット券を発売します！
(エリア内座席指定 / 前売のみ / 1会員2セットまで)
■2つの公演のセットで
前売料金 / 8,300円 (2公演通常前売価格 9,500円) 前売 20% 割引
※盛岡劇場のみでの取扱い
※m-Friends同時入会可 (年会費2,000円)

<お客様へのお願い>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来場の際は以下の点にご協力ください。
●お名前、ご連絡先の確認
●マスク着用、手指の消毒の徹底
●発熱、咳、だるさなどの症状がある場合は来場をご遠慮ください
●劇場の感染症対策について、事前にHP等でご確認をお願いします

ARTS for the Future ▶ 2

お問合せ・チケット予約
盛岡劇場 ☎019-622-2258

関連企画

①平田オリザ流演劇ワークショップ～演劇の手法を使ったコミュニケーションツールを学ぶ～

2022年10月15日(土) 13:30～16:30 / 16日(日) 10:00～16:00

対象：教育現場や文化施設で働く方、将来職業として目指す学生、または劇団関係者など、演劇ワークショップの手法に関心のある方で、両日参加できる方。定員20名
会場：盛岡劇場

②盛岡市文化振興事業団設立25周年記念事業 平田オリザ講演会『平田オリザの 啄木・賢治論 ～日本文学盛衰史』に向けて～

2022年10月15日(土) 18:30～20:00

石川啄木や宮澤賢治も登場する「日本文学盛衰史」がより楽しめる、平田オリザによる近代文学論。盛岡劇場のみの記念企画です。 入場無料・要整理券 (限定90名)
会場：盛岡劇場 タウンホール

事業の詳細は
こちらから
(盛岡劇場 HP)



歌って笑って!!

令和4年度 姫神ホール芸術鑑賞事業

IBCラジオ公開録音

2022

民謡まわり舞台

in 姫神ホール

心は一つ、民謡で絆を

全席指定
入場無料
(要整理券)

唄い手
新保 公

唄い手
菊池 マセ

唄い手
井上 るみ子

唄い手
阿部 勝男

唄い手
阿部 愛音

司会
菰間 彩華

出演者 菊池マセ 新保 公 井上るみ子 阿部勝男 阿部愛音
川村治穂(尺八) 二代目 井上成美(三味線)

令和4年10月15日(土)

〈開演〉午後1時30分(午後0時30分開場)

姫神ホール(盛岡市浜民文化会館)

盛岡市浜民字鶴塚55 <https://www.mfca.jp/himekami/>

【主催】盛岡市文化振興事業団 【共催】盛岡市

9月28日(水)入場整理券配布開始

●入場整理券配布場所

盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、
姫神ホール、IBC岩手放送(お一人様2枚まで)

※本公演は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドラインに沿って、収容率100%
(お隣にほかのお客様がいる状態)で行います。感染拡大状況によっては、入場定員や座席
配置の調整、公演の中止や延期、内容の変更などする場合があります。
※空き席がある場合でも当日整理券は配布いたしません。

ご来場の皆様へ

※入場整理券配布時に、ご来場予定のお客様のお名前と連絡先を確認させていただきます。
※発着時や休憩時は、お客様同士の間隔を十分空けて、距離を保ってご移動ください。
※退場時は、エリアごとの分散退場をお願いする場合がありますので、案内に沿ってご退場ください。
※ご来場後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、保健所等のほか当ホールへもご連絡ください。
※国や自治体等のガイドラインに沿った開催となります。感染拡大の状況により、公演の中止や延期、
内容や座席等の変更をする場合があります。

新型コロナウイルス感染症等の拡大防止のため、ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ/姫神ホール Tel.019-683-3526 IBC岩手放送 Tel.019-623-3111

公財盛文事号外
令和4年8月25日

報道機関各位

公益財団法人盛岡市文化振興事業団
理事長 三浦 宏

主催事業に係る周知方について(依頼)

日ごろ、当事業団の事業運営につきましては、格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当事業団では別添のとおり主催事業を実施いたします。

つきましては、広く市民の皆様に当該事業をお知らせいただきたく、貴報道機関を通じての周知方、よろしくお願い申し上げます。

また、お取り上げいただける場合は出演者の写真等もご用意できますので、ご一報いただければ幸いです。

ご多用のところ恐縮ではございますが、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人盛岡市文化振興事業団
担当：盛岡劇場 田澤 優紀 (講演会)
渡邊 奈津子 (ワークショップ)
Tel 019-622-2258 / Fax 019-622-1910

青年団「日本文学盛衰史」関連企画

平田オリザ講演会

「平田オリザ的 啄木・賢治論～『日本文学盛衰史』に向けて～」



石川啄木や宮澤賢治も登場する「日本文学盛衰史」がより楽しめる、平田オリザによる近代文学論。盛岡劇場のみの記念企画です。

12月18日(土)に盛岡劇場メインホールで青年団「日本文学盛衰史」を上演します。

※詳細は公演チラシ、または盛岡劇場 HP をご覧ください

日時 2022年10月15日(土) 18:30開演(18:00開場)
会場 盛岡劇場タウンホール
料金 無料(要整理券)
定員 90名(全席自由)

[整理券配布]

9月4日(日)から、盛岡市民文化ホール、キャラホール、姫神ホール、盛岡劇場にて配布します(1人2枚まで)



平田オリザ Oriza Hirata

劇作家・演出家・青年団主宰。芸術文化観光専門職大学学長。江原河畔劇場・こまばアブラ劇場 芸術総監督。

1995年『東京ノート』で第39回岸田国土戯曲賞、1998年『月の岬』で第5回読売演劇大賞・優秀演出家賞、2003年『その河をこえて、五月』で第2回朝日舞台芸術賞グランプリ、2019年『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞受賞。2011年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。豊岡市文化政策担当参与。

<お客様へのお願い> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来場の際は以下の点にご協力ください

- お名前、ご連絡先の確認
- 発熱、咳、だるさなどの症状がある場合は来場をご遠慮ください
- マスク着用、手指の消毒の徹底
- 劇場の感染症対策について、事前にHP等でご確認をお願いします

お問合せ：盛岡劇場 ☎019-622-2258

主催：盛岡市文化振興事業団 共催：盛岡市、岩手日報社 後援：めんこいテレビ 助成：(一財)地域創造

ARTS for the future ▶▶

平田オリザ流

芸術鑑賞事業 青年団『日本文学盛衰史』関連企画

演劇ワークショップ

～演劇の手法を使ったコミュニケーションツールを学ぶ～

ワークショップを立ち上げたいけど、
必要な心構えや、プロセスの組み立て方を知りたい。
アイスブレイクとはなんだろう？
参加者同士のコミュニケーションを深めるには？
演劇の手法を取り入れたワークショップを、
平田オリザさんから教わります。



令和4年

10/15 (土) 13:30～16:30

10/16 (日) 10:00～16:00

※2日間連続の講座となります

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。
状況により、内容変更や開催中止となる可能性があります。



講師 平田オリザ
(劇作家・演出家・青年団主宰)



- 会場 1日目/メインホール 2日目/タウンホール
- 受講料 1,000円(2日間分・傷害保険料を含む)
- 対象 下記の①～③いずれかに該当する方(演劇経験の有無は問わない)
- ①教育現場、劇場など文化施設に所属する職員、またはそれを目指す方
 - ②盛岡市内近郊で活動する劇団関係者
 - ③演劇ワークショップの手法に関心のある大学生以上の方
- 定員 20名 ※定員を超える応募があった場合は抽選。ただし、①を優先する場合があります
- 応募方法 メールにて受付
kouza-morigeki@mfica.jp
(氏名、フリガナ、性別、生年月日、年齢、電話番号、住所、所属する団体名を明記)
※送信後3日以内に受付メールが届かない場合はお電話でご連絡ください
- 受付期間 9/4(日)～9/30(金) 21:30まで

こちらから
簡単にメールで
申込ができます



問い合わせ:盛岡劇場 ☎019-622-2258盛岡市松尾町3-1(月曜休館)

主催 / (公財) 盛岡市文化振興事業団 盛岡劇場 共催 / 盛岡市、盛岡市教育委員会 助成 / (一財) 地域創造

ARTS for the future! ▶ 2